

●加藤慶一郎（かとう けいいちろう）

流通科学大学商学部 助教授

1964年生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。浜松大学国際経済学部専任講師を経て現職。

<主な著書・論文>

「近世後期経済発展の構造」（清文堂、2001年）、「明治後期・大正期の酒造業における産地構造の変化－灘五郷における外来酒造家を中心として－」（『六甲台論集』第39巻第4号、1993年9月）。

●國村 道雄（くにむら みちお）

名古屋市立大学 経済学部 教授（商学博士）

1940年生まれ。大阪市立大学大学院経営学研究科修士課程修了。

<主な著書・論文>

「現代資本市場の分析」（東洋経済新報社、1986年）、「Does Size Really Matter in Japan?」（with Xavier Garza-Gomez and Jiro Hodoshima）, *Financial Analysis Journal*, Vol.52, pp.22-34, November/December 1998、「Cross-sectional analysis of return and beta in Japan」, (with Jiro Hodoshima and Xavier Garza-Gomez), *Journal of Economics and Business* 52, 515-533, September, 2000、「Reexamining the Robustness of the Market Value of Equity」, (with Xavier Garza-Gomez and Jiro Hodoshima), *Asia-Pacific Financial Markets*, 2001, 1-25、「Discretionary Accruals Models and the Accounting Process」, (with Xavier Garza-Gomez and Masashi Okumura), *Kobe Economic and Business Review* 45, 103-135, 2000.

●中谷 朋昭（なかたに ともあき）

帯広畜産大学 畜産資源経済学講座 助手

1969年生まれ。北海道大学大学院農学研究科修士課程修了、農学博士。

<主な著書・論文>

「商品先物価格変化の季節変動パターン」（『1997年度日本農業経済学会論文集（農業経済研究別冊）』、pp.220-222、1997年）、「農産物における最適ヘッジ取引率の推計－小豆先物市場を対象にして－」（『農業経営研究』第36巻第1号、pp.147-152、2000年）、「米国産大豆先物市場におけるボラティリティ変動の計量分析」（『北海道農業経済研究』第9巻第1号、pp.15-32、2000年）、「農産物先物価格の市場間のリンケージの実証的研究－東穀とCBOTの大豆先物価格を対象にして－」（『先物取引研究』第5巻第1号、pp.

149-162、2000年)、“Bivariate GARCH Estimation of Time-Varying Optimal Hedge Ratios on Precious Metals Futures Markets in Japan”, *ISE (Istanbul Stock Exchange) Finance Award Series*, Vol.2, pp.53-80, 2000.

●笹木 潤 (ささき じゅん)

東京農業大学 産業経済学科 講師

1970年生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了、農学博士。日本学術振興会特別研究員を経て現職。

<主な著書・論文>

「農産物先物価格の市場間リンケージの実証的研究－東穀とCBOTの大豆先物価格を対象にして－」(共著：『先物取引研究』第5巻第1号、pp.149-162、2000年)、「日本における農産物先物市場の連関性に関する計量経済学的研究」(『北海道大学大学院農学研究科邦文紀要』第23巻第2号、pp.119-175、2000年)、「東穀大豆先物価格の形成－CBOT大豆先物価格と共和分分析－」(共著：『フードシステム研究』第6巻第1号、pp.2-15、1999年)

●立岩 寿一 (たていわ としかず)

東京農業大学 国際食料情報学部 教授

1953年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。愛媛大学法文学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「現代アメリカ農業の形成」(お茶の水書房、1990年)、「先進国の農業問題」(『食料環境経済学入門』所収、筑摩書房、1998年)、「アメリカにおける商品先物取引利用の実態に関する研究」(『先物取引研究』第3巻第2号、1998年11月)、「アジアにおける商品先物取引の現状と課題に関する研究－台湾・香港・シンガポールを中心として－」(『先物取引研究』第4巻第1号、1999年11月)。

●小澤 健二 (おざわ けんじ)

新潟大学 経済学部 教授

1941年生まれ。東京大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程修了。農林水産省農業総合研究所海外部海外研究部長を経て現職。

●手塚 眞 (てづか まこと)

東京経済大学 経済学部 教授

1950年生まれ。ミシガン州立大学大学院人類学研究科人類学専攻修士課程修了。国会国会図書館調査立法考査局調査員を経て現職。

●菅沼 圭輔（すがぬま けいすけ）

福島大学 経済学部 助教授

1960年生まれ。東京大学大学院農学系研究科農業経済学専攻博士課程修了。東京大学農学部助手、新潟大学農学部助教授を経て現職。

●高橋 一（たかはし はじめ）

一橋大学大学院 経済学研究科長・学部長

1947年生まれ。コロンビア大学数理統計学部 Ph. D. Mathematical Statistics (1978年)。ミシガン大学助教授 (Dept. of Statistics、1997年)、ボストン大学助教授 (Dept. of Mathematics、1979年)、富山大学助教授 (経済学部、1982年)、一橋大学教授 (経済学部、1988年) を経て現職。

<主な著書・論文>

「経済とファイナンスのための数学」(新世社、1999年)、「A Note on Interaction Between Financial Markets」, Asia-Pacific Financial Market, 2000、「Asymptotic Expansions in Anscomb's Theorem for Repeated Significance Tests and Estimation after Sequential Testing」, Annals of Statistics, 1987.

●棚橋 隆彦（たなはし たかひこ）

特別招聘研究員（高度情報科学技術研究機構）

1941年生まれ。慶應義塾大学理工学部機械工学科卒業。慶應義塾大学理工学研究科博士課程修了。慶應義塾大学機械工学科助手、専任講師、助教授、教授、サザンプトン大学客員教授、マサチューセッツ工科大学客員教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「基礎流体工学入門」(コロナ社、1976年)、「連続体の力学(1)~(8)」(理工図書、1991年)、「CFD数値流体力学」(アイピーシー、1993年)、「電磁熱流体の数値解析」(森北出版、1995年)、「流れの有限要素法解析 I, II」(朝倉書店)、公刊論文304編、口頭発表論文461編、解説・報告書363件。

●尹 熙元（ゆん ひうおん）

株式会社シーエムディリサーチ 代表取締役

1964年生まれ。慶應義塾大学理工学研究科修了。慶應義塾大学博士課程。ソロモンブラザーズ証券、日興ソロンスミスバーニー証券を経て株式会社シーエムディリサーチを設立。

<主な著書・論文>

「Computational Market Dynamicsの提案」(『計算工学講演会論文集』Vol. 5-1、285、2000年)、「磁性流体のクラスター現象に対する統計理論」(『日本機械学会論文集』56-521、B、28、1990年11月)。

●齊藤 英雄（さいとう ひでお）

慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 助教授

1965年生まれ。慶應義塾大学理工学研究科博士課程修了。慶應義塾大学理工学部電気工学科助手、専任講師、情報工学科専任講師、カーネギーメロン大学ロボット研究所訪問研究員（学術振興会海外特別研究員）、科学技術振興事業団さきがけ研究21（情報と知）研究員を経て現職。

<主な著書・論文>

「公源の相対的回転による物体形状と表面反射得特性の推定」（共同研究、『電子情報通信学会論文誌 DII』Vol. J83-D-II、No. 3、pp. 927-937、2000年）、「遺伝的アルゴリズムによる多視点画像からの多面体モデリング」（共同研究、『電子情報通信学会論文誌 DII』Vol. J81-D-II、No. 7、pp. 1545-1555、1998年）。

●美里 晋一（みさと しんいち）

慶應義塾大学 理工学研究科 開放環境科学専攻

1979年生まれ。慶應義塾大学理工学部機械工学科卒業。

<主な著書・論文>

「Computational Market Dynamics（計算市場運動学）に関する研究」

●茂野 隆一（しげの りゅういち）

筑波大学 農林学系 助教授

1958年生まれ。東京大学大学院農学研究科修士課程修了。農林水産省農業総合研究所主任研究官を経て現職。

<主な著書・論文>

「アグリビジネスの産業組織」（共著：東京大学出版会、1995年）、「農協再編と改革の課題」（共著：家の光協会、1997年）、「農業共済の経済分析」（共著：農林統計協会、2001年）。

●張 同林（ちょう どうりん）

筑波大学大学院 農学研究科博士課程

1961年生まれ。遼寧大学経済学部卒業。中国内モンゴル財政経済大学講師を経て来日。

<主な著書・論文>

「国民総生産と国民収入との同時成長」（『国民経済計画と管理』1985年第7号、中国人民大学）、「内モンゴルにおける畜産物卸売市場創設の可能性」（『内モンゴル財政経済大学誌』、1991年第4号）、「包頭地域の経済振興に関する研究」（共著：内モンゴル人民出版社、1992年）。